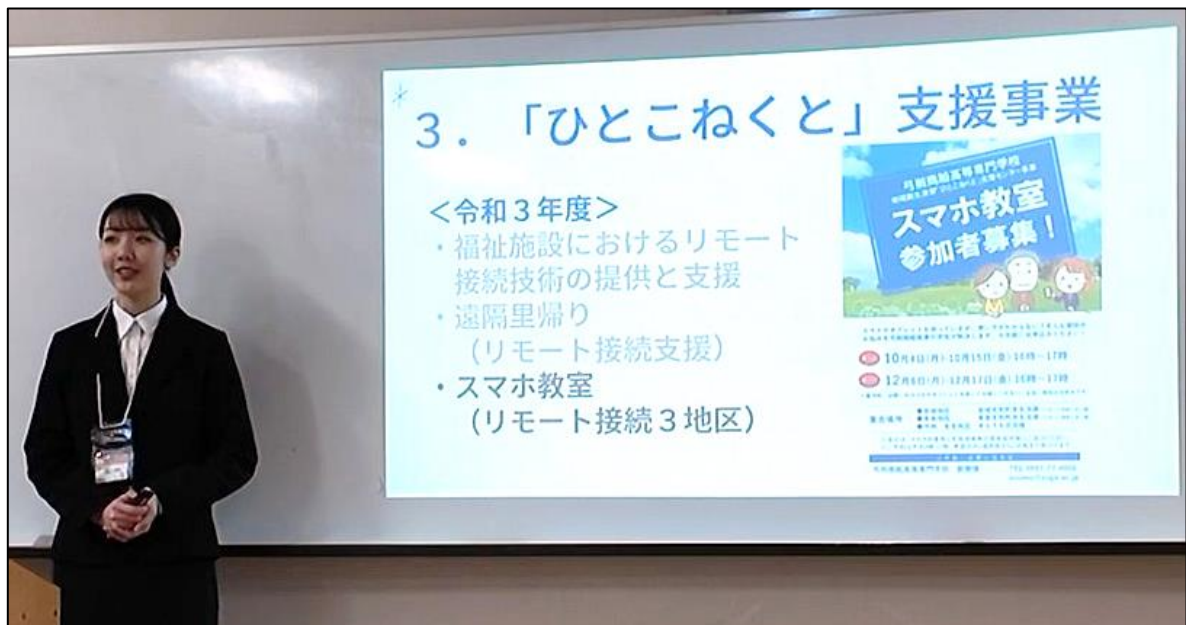


ひとづくり 第25号

弓削商船高等専門学校 情報工学科 広報誌 令和6年3月発行

第29回 高専シンポジウムで最優秀賞受賞！



2024年1月27日（土）に新潟県長岡市で行われた「第29回高専シンポジウム in Nagaoka」において、情報工学科5年の長畑桜弥さんが最高の賞である「独立行政法人国立高等専門学校機構理事長賞」を受賞しました。高専シンポジウムとは全国の高専生が集まり、対外的に研究発表と討論を行うイベントであり、口頭発表約200件、ポスター発表約90件が対面やオンラインで行われました。今年度は一次審査を通過した、9件の中から「国立高等専門学校機構理事長賞」を本校の長畑さんが授与されました。

心を育むボランティア活動

情報工学科5年 長畑 桜弥

2024年1月27日、新潟県長岡市で開催された「第29回高専シンポジウム」で「独立行政法人国立高等専門学校機構理事長賞」を受賞しました。発表は「離島工学に基づく持続可能な『ひとこねくと』支援事業 スマホ教室の取組み」と題して、自身の地域創生活動や学校の取り組みを紹介しました。『ひとこねくと』支援事業では、福祉施設のリモート接続技術の提供や遠隔里帰り支援、スマホ教室などを行い、地域の課題解決に貢献しています。学生はボランティアとして参加し、私も低学年次より参加してきました。

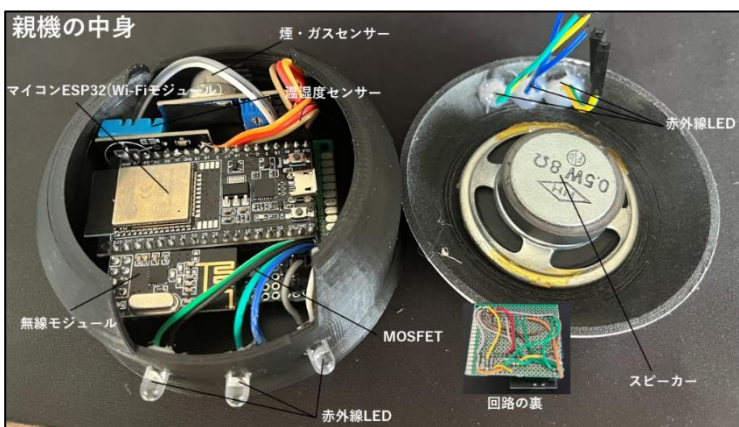
私は、ボランティア活動という小さな行動の積み重ねが、自己形成に大きな影響を与えていると感じています。幅広い年代の方と交流を重ねることで心が豊かに育まれ、知識や知見、考え方の幅が広がりました。中でも人から感謝される経験は、自身の価値ある心の財産となっています。これからも相互理解の気持ちや人とのかかわりを大切に、励んでいきたいと思っています。

KOSEN セキュリティコンテスト 2023 準優勝



2023年11月18日にKOSENセキュリティコンテスト2023が開催され全国の国公私立高専から42チーム131名が参加し、サイバーセキュリティの技術を競い合いました。このコンテストはCTF (Capture The Flag) 形式の大会になっており、専門知識や技術を駆使して出題される課題のFlag (答え) を見つけ出し、時間内に獲得した点数を競うハッキングコンテストになります。このコンテストにて、本校マイコン部チーム catapult (専攻科1年 下見 真生さん, 専攻科1年 當田 斐之さん, 情報工学科2年 石橋 治樹さん, 情報工学科2年 松田 柚鈴さん) が準優勝を果たしました。

第2回全国高等学校プログラミング大会 優秀賞



2023年11月26日に開催された第2回全国高等学校プログラミング大会にて情報工学科1年生 平松夏々翔さんが作成した「All IoT化システム」が優秀賞を獲得しました。この大会では、テーマの指定はなく、自由な発想で創作したソフトウェア・ハードウェアの作品を「発想力」「表現力」「技術力」を基準に評価されます。平松さんは、電波があるならスマホでどこからでも家電を操作でき、IoT 火災報知器やIoT 温湿度計など、いろいろな機能を備えたシステムを作成しました。また、平松さんの作品は、ヒーローズ・リーグ2023において、チャレンジ度・ギーク度・ワクワク感の審査基準において、LINE API ヒーロー賞も受賞しています。

情報工学科1年生の授業風景～情報・電子機械工学科の合同演習～



情報工学科1年生と電子機械工学科1年生の学生が合同演習を行い、ロボットを設計しました。具体的には、ロボットのフレームを実習工場にて金属板から切り出して組み立てプログラミングで制御するなど全て自分たちで行いました。完成したロボットには事前に指定された動作やサイズの規格が合っているかを「車検」で確認し、仕様を満たすロボット作りを体験しました。ロボットに装備した風船を互いのロボットで割り合う「風船割り」競技など行い各々のロボットの出来栄を確認しました。

高専生 海外へ続々進出

本校では、モンゴル・タイの大学への海外インターンシップや、フィリピン・シンガポールへの語学留学など、在学中に海外留学をし、国際的なエンジニアとなるべく活躍する学生たちがいます。その中から、タイへ海外インターンシップに行った学生と、イギリスとマルタ共和国に語学留学した学生を紹介します。

タイ ナコンパノム大学での海外インターンシップ

情報工学科5年 近藤 新



2023年12月に、私は約12日間、タイ王国・ナコンパノム大学での海外インターンシップに参加しました。この期間中、私は大学の見学、メコン川の水質検査、LDHホイルの性能調査、ドローンによるメコン川の流速測定を行いました。大学の見学では様々な学部を見学させていただきました。大学の方々とは、主に英語を使ってコミュニケーションをとりました。大学見学の際の説明も英語で行われ、意味を理解するのに苦労しました。実験の

結果をタイの学生に英語で発表する機会がありました。質疑応答などもすべて英語で行ったため、英語への抵抗が少なくなりました。

今回のインターンシップを通して、新しい環境で学ぶことで知識や価値観などが広がりました。つたない語学でも、自分から話しコミュニケーションがとることで、語学の上達、モチベーションの向上につながると感じました。今回の留学で海外への興味が高まり、また海外で学びたいと思いました。

イギリスとマルタ共和国留学を終えて

情報工学科5年 今井 洸樹



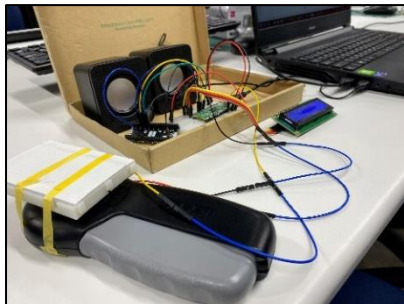
私は2022年2月から2023年2月まで、イギリスとマルタ共和国の2か国に留学に行き、1年間語学学校で英語を学びました。クラスにはフランス、スペインなどの欧州や、チリ、ブラジルなどの南米、サウジアラビアなどの中東の学生がいて、多言語、多文化に触れることができる毎日でした。放課後にはみんなで集まって食事をしたり、海に行ったりなどたくさんの交流をすることが

できました。また、休日にはヨーロッパ各国に旅行もしました。

留学を通して、たくさんの文化に触れることで様々な価値観を知ることができました。それだけでなく、たくさんの人と触れ合い、様々な場所に行き、様々な経験をした1年は、これからの人生の中でほかの何にも代えられない貴重な時間になりました。この経験はこれから先、必ず役に立つと感じています。

また、留学に対して金銭面、精神面でたくさんのサポートをしてくれた家族にとっても感謝しています。今、少しでも留学に興味がある人がいれば勇気を出して一歩踏み出してみたいです。

創造性実験の最終発表会を行いました



情報工学科 4 年生が、創造性実験の発表会を行いました。本授業は、スタートアップ支援事業の一環として実施されており、支援事業コーディネータとして本校 OB である瀬尾敦生氏（株式会社 MIXI）も参加され、学生たちの作品にコメントをいただきました。握力計を握りしめないと止まらない目覚まし時計や、画像中の 10 円玉のサイズを基準にした計測アプリなどオリジナリティのある作品が並びました。

第 11 回情報工学科学生表彰

情報工学科では、1～4 年生を対象に、顕著な成果をあげた学生を表彰する制度を設けています。この賞は、

- ・ 成績や資格取得などの学業
- ・ クラブ、学生会、ボランティア活動、異文化交流などの課外活動
- ・ 人格、授業や学校行事（特別活動、SHR など）に取り組む姿勢

を総合的に評価し、他の学生の模範となる者に授与されます。今年度の受賞は、次の通りです。

最優秀学生賞

平松 夏々翔（1 年）：成績優秀、第 2 回全国高等学校プログラミング大会優秀賞、P 検準 2 級

優秀学生賞

田房 蓮一郎（2 年）：成績優秀、IT パスポート、情報セキュリティマネジメント

真木 一平（3 年）：成績優秀、TOEIC740 点

タナーシン（4 年）：成績優秀、基本情報処理技術者、TOEIC925 点

奨励学生賞

伊藤 音人（1 年）：成績優秀、P 検準 2 級、愛媛県坊ちゃんカップ セーリング部門 ILCA4 3 位、ジュニアユースセーリング・シーマンシップアカデミー 新居浜への参加、鹿児島国体 2023 選手選考レース参加

久保 竜壮（1 年）：成績優秀

石橋 治樹（2 年）：成績優秀、KOSEN セキュリティコンテスト 2023 準優勝

藤原 歩華（2 年）：成績優秀、P 検準 2 級、四国高専大会剣道競技女子個人の部準優勝

尾崎 陽（3 年）：成績優秀、IT パスポート

西山 香与（3 年）：成績優秀

松田 優和（4 年）：成績優秀、IT パスポート、英検 2 級、副級長

岡野 未央（4 年）：成績優秀、IT パスポート、英検 2 級

村上 柊太（4 年）：成績優秀

小林 大聖（4 年）：成績優秀、四国高専大会陸上競技男子 110m ハードル 3 位、4×100m リレー 3 位



国立弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 番地

<https://www.yuge.ac.jp/> 0897-77-4620

題字：馬越 唯（平成 23 年度情報工学科卒業生）

コンピュータ教育を通して、社会に役立つ「ひとづくり」を目指します。